



集落営農法人・組織の優良事例

組織名	農事組合法人はざめ
所在地	宇和島市三間町迫目 1034-1
経営品目・面積	水稲 20ha、大豆 7.1ha
構成員戸数	52 名
所有する機械・施設等	倉庫、トラクタ、ブームスプレーヤ、田植機、コンバイン、精米機、色彩選別機、管理機など
組織代表者氏名・連絡先	代表理事 土居 勇吉 (TEL: 0895-58-3003)
設立の経緯	「三間米」の産地で知られる宇和島市三間町迫目地区は、高齢化・担い手不足で耕作放棄地が増えてきた中、米作りに危機感を持った農家は、「集落の農地は集落で守る」を合言葉に平成 13 年水稲作業受託組織「迫目集落営農組合」を設立し、さらに平成 19 年「農事組合法人はざめ」に組織再編した。
取り組みの特徴	<p>○部門制による役割分担 水稲・特別栽培米部会、機械利用・オペレーター部会、大豆・園芸部会、果樹部会、女性部会に分かれて活動を展開している。</p> <p>○水稲作業受託 水稲作業のうち耕起、代かき、田植え、稲刈り作業を法人が受託作業することで、農家は機械利用料の支払いのみで、機械更新毎に必要なであった多額の資金が不要となった。</p> <p>○エコ愛媛特別栽培米 美味しい「三間米」に、更に付加価値をつけようと、化学合成農薬と化学肥料を 5 割削減した人と環境にやさしい栽培に取り組んでいる。</p> <p>○ブロックローテーションによる大豆栽培 大豆 7ha の栽培導入で、慢性的な水稲の水不足を解消した。</p> <p>○基本的管理作業は組合員が行う 水管理、草刈り作業などは組合員が行い、労働時間に応じて賃金が支払われる仕組みとなっている。</p> <p>【参考】平成 20 年度・豊かなむらづくり「農林水産大臣賞」</p>
取り組みの PR 画像等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>三間 IC を望む迫目地区</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>水稲収穫作業の様子</p> </div> </div>